

学校だより 11月

令和4年10月31日
横浜市立大岡小学校
TEL (711) 0818
FAX (713) 3563

ともに高め合い ともに育つ

校長 馬渡 照代

10月11日、コロナ禍でできなかった「期分け式」を、久しぶりに行いました。「期分け式」とは、「前期が終わって後期が始まる」ことを意味する式です。子どもたちには、「今日から、後期がスタートします。気分も新たに、『大岡っ子の基』の精神を大切にしながら、いろいろなことにチャレンジしていきましょう。」と話しました。また、「期分け式」に先だって、前期最後の日に、子どもたち一人一人に「ともそだち」が渡されました。前期の学習の様子について、子どもたちは、担任から丁寧な説明を受けていました。それをもとに、後期は、更に自分自身を成長させて欲しいと思います。

ところで、本校では、成績の記録を「ともそだち」と呼んでいます。大岡っ子は当たり前でも、そうでない人々にとっては、不思議な言葉です。私もその一人で、今までずっと「あゆみ」と呼んでいたもので、初めて聞いたときは、「？」と思いました。多分「ともそだち」と呼ぶのは、市内でも大岡小学校だけではないでしょうか。

なぜ「ともそだち」なのか、色々な方に尋ねたところ、「ともにそだつ」という意味があることが分かりました。つまり、子どもたちは、友達はもちろん、家族、地域の方々と共に学び合って自分を成長させる、先生方や家族の人たち、地域の方々には、子どもたちを共に見守り、みんなで育てていく、そのプロセスの中で、大人も子どもも共に成長していく、このような崇高な意味がありました。本校の学校教育目標にも、「共に学びを切り開いていく子ども」という一文があります。本校は、多くの方々に関わり合いながら学び合い、共に高め合う、難しい言葉で言うと「周りの人と協働し、切磋琢磨しながら、自分だけでなくみんなで成長していく」ことを大切にしている学校です。だからこそ、「あゆみ」ではなく「ともそだち」と命名したことに意味があり、私は、大岡小らしいと大いに納得しました。

そして、「ともにそだつ」ために大いに役立っている特別な学びが、大岡小には2つあります。「大岡の時間」と「なかよし活動」です。「大岡の時間」は、クラスごとに一つの材を決めて、それを1年かけてゴール目指して探究し続ける学びです。共に学び合い高め合うことで、知識や技能を身につけ、思考力、表現力などが高まり、毎年充実した学びとなっています。更に、学年が上がるごとにそれらの力が蓄積され、子どもたちが主体的に学ぼうとする力となって随所に発揮されているということも、私自身肌で感じています。残り半年間でどのように学びを深め、共に高め合って目指すゴールを迎えるのか、楽しみで仕方ありません。保護者・地域の皆様も、大いに期待してください。

また、「なかよし活動」は、「大岡っ子の基」を大切にしつつ1年生から6年生までの繋がりを深め、共に活動しながら豊かな人間関係を築くことを目的とした活動です。6年生がリーダーシップを発揮し、5年生は6年生の補助をしながら、共に班をよくまとめています。長縄練習では、みんなで和気藹々と跳んでいて、いつも微笑ましく見ていました。低学年の中には、縄に入れない子もいるのですが、そんな時は上級生が優しく声を掛けたり、サポートしたりしています。そんな光景を目にする度に、大岡っ子は本当に優しいな、といつも感心します。

さて、つい先日、9月の後半から実行委員や創り上げる委員会等を中心に、全校で力を合わせて共に創り上げてきた「150周年記念スポフェス」が、寒空の中でしたが無事終わりました。実行委員を中心に、創意工夫を重ねて行われた学年競技は、ハラハラドキドキさせられて、見ていてとても面白かったです。競技中、失敗した友だちにかける「ドンマイ」「頑張ってる」の声を聞いて、「さすが大岡っ子」と嬉しくなりました。応援団のかけ声に呼応して、久しぶりに大声を出しての一系乱れぬ応援は、皆の気持ちが高ぶり、一層スポフェスを盛り上げてくれました。高学年がいないとき、下学年がリーダーシップを発揮して一生懸命応援している姿は、「つながり」を感じさせてくれました。リレーも練習の成果を発揮して見事なバトンパスを見せ、白熱したレースになりました。児童席では、5・6年生が、縦割りグループの下級生の面倒をととてもよく見ていました。今年は、保護者の方や地域の方が、去年よりたくさん見に来てくださり、子どもたちは、いつも以上に張り切っていたように思います。応援、ありがとうございました。この2ヶ月、子どもたちは、スポフェスからたくさんを学びました。後期の子どもたちの活躍が、ますます楽しみです。

大岡小学校では、このような活動を通して子どもたちの学びを深め、教科等の学習もしっかり進めながら、育てたい資質・能力を身につけられるよう指導しています。これからも、保護者の皆様、地域の皆様には、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。